

計画の名称	郡中地区まちづくり計画											
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	伊予市											
計画の目標	<p>旧伊予市の中心部である灘町が商店街として栄えてきたが、国道56号の整備や消費者ニーズの変化とともに、国道沿線に新しい店舗や事業所が増え、松山自動車道伊予インターチェンジの開設等により、郊外型大型店舗の出店や増床が行われるようになり、中心市街地の衰退がみられるようになった。</p> <p>一方で、中心市街地には昔の町家が多く残り、江戸時代の区割や骨格が残っていると同時に、公共交通結節機能、経済機能、公共公益機能等の主な都市機能が既に集約されている。</p> <p>こうしたことから、JR伊予市駅や伊予鉄郡中港駅等を中心とした中心市街地を「中心拠点区域」に位置付け、老朽化した公共施設の集約更新を行い、都市機能のコンパクト化と拡散防止、中心市街地における公共・公益サービス機能の維持を図る。また、郡中の古いまちなみを中心とする観光資源を活用し、地域内外の交流の拡大を図る。</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4,433	A	4,415	B	0	C	18	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.4 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	図書館・地域交流センターの利用者数を62,706人(H26)から66,000人(R2)に増加させる			
	図書館・地域交流センター利用者数	62706人/年	人/年	66000人/年
	図書館及び地域交流センターの複合施設の年間利用者数の合計			
2	「町家」の入込客数を285,197人(H26)から301,000人(R2)に増加させる			
	「町家」入込客数	285197人/年	人/年	301000人/年
	観光拠点やイベント会場である「町家」の年間入込客数			
3	商店街の歩行者数を245人(H26)から275人(R2)に増加させる			
	商店街歩行者数	245人	人	275人
	商店街の中心部にあたる「宮内邸」前における、10月の平日・土曜日の2日間、9:00~19:00の歩行者数合計			
4	計画区域内居住人口を5,806人(H26)から5,835人(R2)に増加させる			
	計画区域内居住人口	5806人	人	5835人
	都市再生整備計画の対象区域内における居住人口			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H28	H29	H30	H31	R02						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	伊予市	直接	伊予市	-	-	郡中中心拠点地区都市再生整備計画事業	A=126.2ha	伊予市						4,415		-			
												小計						4,415				
												合計						4,415				

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	伊予市	直接	伊予市	-	-	事業効果評価分析	事業効果の評価分析	伊予市						5	-	
	今後のまちづくりを検討するための効果分析調査を行う。																		
	C10-002	都市再生	一般	伊予市	直接	伊予市	-	-	街歩きマップ作成	景観資源を巡るマップの作成	伊予市						3	-	
	A-1とセットで実施することで地域の魅力を発信し、街中への人の流れを創出する。																		
	C10-003	都市再生	一般	伊予市	直接	伊予市	-	-	道路交通社会実験	道路交通に係る社会実験の実施	伊予市						10	-	
	道路整備による歩行者スペースの確保と併せて、商店街への滞留空間づくりを検討する。																		
											小計						18		
											合計						18		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30		
配分額 (a)	409	693	735		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	409	693	735		
前年度からの繰越額 (d)	0	314	647		
支払済額 (e)	95	360	792		
翌年度繰越額 (f)	314	647	590		
うち未契約繰越額(g)	0	38	3		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	3.77	0.21		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					